

- 貨物会社 1.1ヶ月+0.2ヶ月を回答！ -

超低額回答に社員からは怒りの声！

定期的な発行を心掛けていた学習版ですが、今回は年末手当の回答を記載するため発行が遅れてしまいました。

しかしながら、1.3ヶ月（1.1ヶ月+0.2ヶ月）という呆れた回答に、貨物社員の生活が更に悪化していくことは間違いありません。生活給としての期末手当を会社はどう考えているのでしょうか？回答の決定権を持っている役員の方々は高給を貰っているから私たち庶民の生活なんて考えられないのかも？



貨物労組の目論見は見事に大外れ！



前号でも記載しましたが、貨物労組は夏季手當時に「冬は1.4ヶ月を確保」などと言っていましたが、どうなっているのでしょうか？

読みが甘かったのか会社に裏切られたのか？どちらにしても労使協調組合の限界が見えてきた気がしませんか？

貨物会社は経営自立計画に近づけるよう限りなく人件費の削減を続けています。労働組合は社員の生活を守るために存在することが最大の目的であり、会社の経営に対しチェックを行い、会社に支払い能力があるかどうか、社員に犠牲を求めるとするならば、経営側はどのような形で自らの責任を取るのかをはっきりさせる必要があります。

社員の率直な気持ちを表明し、皆で抗議しよう！

JR各社の年末手当回答一覧表を見れば明らかですが、経営安定基金を受けている会社よりも大幅に低い貨物会社の回答は、貨物社員のモチベーションを大幅に下げるものであり、仕事に対する意欲が無くなります。

**JR貨物社員の生活実態や要求を本社にぶつけ
再回答を求めよう！**

JR各社の年末手当回答

JR北海道	11/26 現在未回答
JR東日本	3.11ヶ月
JR東海	3.0ヶ月
JR西日本	2.69ヶ月
JR四国	2.2ヶ月
JR九州	2.545ヶ月
JR貨物	1.3ヶ月

この投光器学習版は国労東海本部のホームページにも掲載されています。

国労東海本部のURLは <http://www.kokurotokai.com> です！